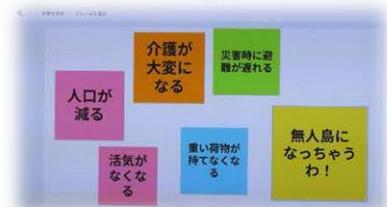
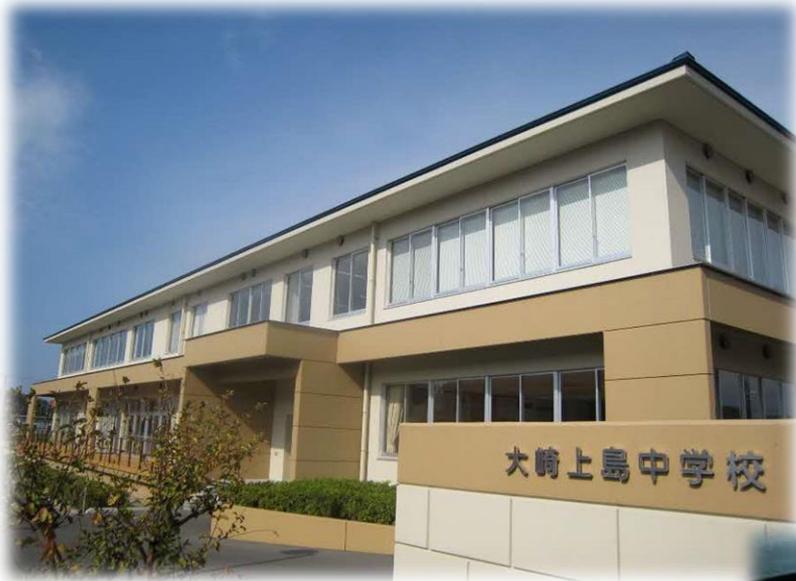


探究的な学習の在り方に関する研究推進地域連絡協議会 大崎上島中学校区 1年目報告スライド

大崎上島を担う
たくましく生きぬく子供の育成
～「大崎上島学」のさらなる充実を目指して～



大崎上島町立
大崎上島中学校
東野小学校
木江小学校
大崎小学校

指導上の課題：「大崎上島学」について

～「大崎上島学」ガイドライン～



「大崎上島学」
島のすべてを学びの材料に！
島まるごと教材！

**自然，歴史・伝統文化，産業，暮らしを学び，
故郷のすばらしさを知る。
自らを見つめ，自らの生き方を振り返り，考
える学習につながる。**

探究には致命的！

課題：内容の形骸化

～「大崎上島学」ガイドライン～

大崎上島で学び 大崎上島を知り 大崎上島に貢献する

体験活動ガイドライン

- ・大崎上島の人・物・事を教育材料にして行う学習
- ・幼・小・中・高の系統的・発展的な学習
- ・地域貢献につながる知識や技能、態度を育むことをねらいとする学習

主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」の充実
 【ねらい】自分を知り、受け入れる。多様性に触れる。自分の意見を主張する。思いを育む。多様性を愛敬する。

大崎遊覧高等学校・広島商船高等専門学校・三原特別支援学校大崎分校
 幼小中の学びから、新たな価値の創造

中学3年
 町づくりに
 参画する活動

【課題】大崎上島の特徴を活かしたまちづくりは？
 ・数科学習・河津線・町への提案

中学2年
 町の特徴を発信し
 地域に貢献する活動

【課題】大崎上島の特産品を買ってもらうには？
 ・数科学習・芸人体験・機織体験

中学1年(小6関連)
 町のよさを見つめ直す活動

【課題】自分たちにできることは何がある？
 ・数科学習・歴史館体験・海軍清掃・福祉体験

小学6年
 大崎上島の伝統文化

【課題】伝統文化継承の意義は？
 ・数科学習・福祉員体験・修学旅行(県外)

小学5年
 大崎上島の産業

【課題】大崎上島にはどんな産業があるの？
 ・数科学習・「山・海・島」体験活動・社会見学

小学4年
 大崎上島の自然

【課題】大崎上島の海を守ろう。
 ・数科学習・グローブルキャンプ・社会見学

小学3年
 大崎上島の宝物

【課題】大崎上島ってどんなところ？
 ・数科学習・上島のめぐり・遠足

小学2年
 校区の様子

【課題】まちにはどんなところがあるの？
 ・数科学習・町たんけん・遠足

小学1年
 校区の自然

【課題】どんな四季の遊びがあるの？
 ・数科学習・学校めぐり・遠足

幼稚園

・地域や伝承の遊び 踊り音楽など

島に愛着を持ち 島のために貢献する子供

- ◆キャリア教育の視点から
 事前・事後活動の充実
- ◆地域人材・関係団体との連携

指導上の課題：児童・生徒について

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」

「総合的な学習の時間での学習で、大崎上島についての知識が深まった。」

(中学生へのアンケート)

20%が否定的

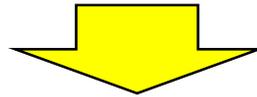
14%が否定的

児童生徒は、意欲的に学習に臨むことはできているが、探究課題において、児童生徒が主体的に進んで活動を進めることに課題

研究テーマ

大崎上島を担う たくましく生きぬく子供の育成
～「大崎上島学」のさらなる充実を目指して～

→ **大崎上島学をPBLの考え方をもとに深化
させていくことが目標**



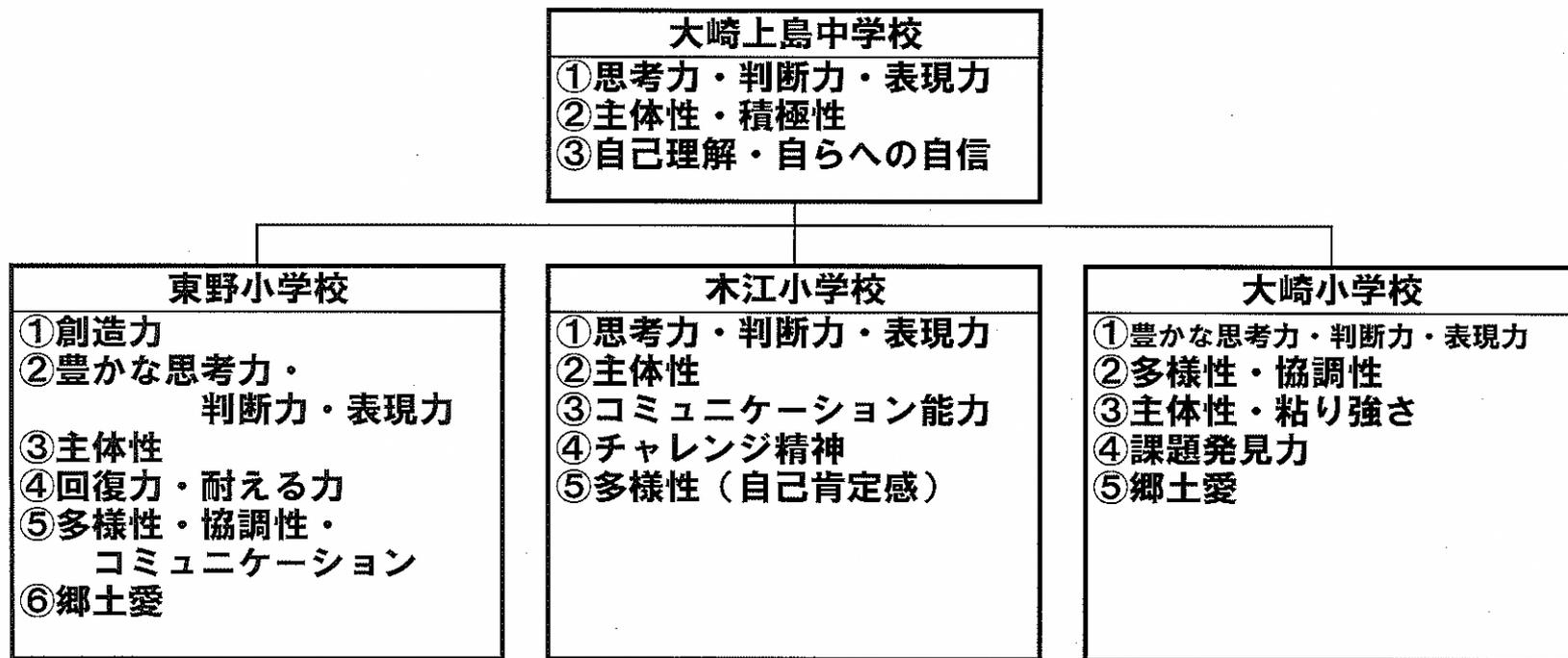
ヒント：地域・学校の強み

- ・積み重ねてきた「大崎上島学」の経験，土台がある。
 - ・地域の人材が豊富で，依頼等にすぐに対応してもらえる。
 - 学校の教育活動にとっても協力的である。
 - ・離島という環境に探究の幅を大きくする可能性がある。
- (観光・産業・暮らし・島の未来・福祉・歴史・伝統文化)

育てたい資質・能力の設定

大崎上島中学校区 育てたい資質・能力 系統図

(R04.01.14)



- ・各地域の実態に応じて育成を目指す資質・能力を設定
- ・中学校では、「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」や小学校での資質・能力を踏まえ設定

取組事例の紹介

① 「大崎上島中学校」
自作の「探究学習シート」の活用

② 「東野小学校」
K授業（3校交流授業）の取組

事例①：「探究学習シート」について

探究学習シート

- 生徒が自ら企画・立案・実行できるように仕組むためのワークシート
- 探究学習シートを中学校区で統一して扱うことで、9年間で探究的な学びのサイクルを深化していく姿を期待

全体計画書

毎時の記録シート

事前評価シート

事後評価シート

各チームの企画書

探究学習シートの全体計画書。表の上部には「探究学習シート」のタイトルと「探究学習」の副題がある。中央には「未来の大躍上機を考えよう！伝えよう！プロジェクト」という大きな見出しがあり、その下に「探究学習の目的」と「探究学習の意義」が記載されている。右側には「探究学習の進め方」が示されている。

探究学習シートの毎時の記録シート。表の上部には「探究学習シート」のタイトルと「探究学習」の副題がある。中央には「未来の大躍上機を考えよう！伝えよう！プロジェクト」という大きな見出しがあり、その下に「探究学習の目的」と「探究学習の意義」が記載されている。右側には「探究学習の進め方」が示されている。

探究学習シートの事前評価シート。表の上部には「探究学習シート」のタイトルと「事前評価シート」の副題がある。中央には「未来の大躍上機を考えよう！伝えよう！プロジェクト」という大きな見出しがあり、その下に「探究学習の目的」と「探究学習の意義」が記載されている。右側には「探究学習の進め方」が示されている。

探究学習シートの事後評価シート。表の上部には「探究学習シート」のタイトルと「事後評価シート」の副題がある。中央には「未来の大躍上機を考えよう！伝えよう！プロジェクト」という大きな見出しがあり、その下に「探究学習の目的」と「探究学習の意義」が記載されている。右側には「探究学習の進め方」が示されている。

探究学習シートの各チームの企画書。表の上部には「探究学習シート」のタイトルと「各チームの企画書」の副題がある。中央には「未来の大躍上機を考えよう！伝えよう！プロジェクト」という大きな見出しがあり、その下に「探究学習の目的」と「探究学習の意義」が記載されている。右側には「探究学習の進め方」が示されている。

事例① 「全体企画書」について その1

総合的な学習の時間 学習シート プロジェクトの全体計画

組 番 名前

全体プロジェクト名

未来の大崎上島を考えよう！伝えよう！プロジェクト

プロジェクトの
達成目標

現在、大崎上島は少子高齢化の問題に直面している。その大崎上島の自然や歴史、文化、産業などを見つめ直し、地域を誇りに思い、それらを受け継ごうとす
ちをみんなが持てるよ

育成したい資質・能力を記入

プロジェクトに関
わる資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 自己理解・自らへの自信

プロジェクトにお
ける評価項目

- ①探究すること：問題を発見し、それを解決するためにどうすればよいかを考える。
- ②他と関わること：仲間と協力して学んだり、社会と関わったりする。
- ③自ら行動すること：失敗を恐れず、いろんなアイデアを提案したり、チャレンジしたりする。

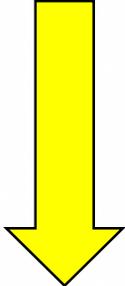
**資質・能力を踏まえ、評価項目を設定
【生徒にわかりやすくするため】**

プロジェクト達
のための主なキ
ワード

教師も生徒も
評価・自己評価しやすい工夫

何を成果物として求められているのかを明確に

プロジェクトで求められる成果物や達成目標	各プロジェクトチームによる「調べたことの発表」やその際には少子高齢化への視点を踏まえること。
プロジェクトの実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none">①本プロジェクトについての説明, 事前アンケート【1h】②大崎上島の現状を知る【2h】③プロジェクトチームの結成【1h】④プレゼンテーションソフトの使い方について【2h】⑤福祉体験学習【当日2h 事後1h】⑥各プロジェクトチームでのプロジェクト計画案の作成【4h】⑦各チームでの活動【10h】⑧各プロジェクトチームでの発表・イベントの実施【2h】⑨各プロジェクトチームでの活動を振り返る。事後アンケート【2h】
備考	上島”を考えるきっかけにする。 の現状と未来を考える。 尊重し共に生きていく人間関係を



探究活動の見通しを持たせる

例年は“事前の学習”が中心
今年度は“事後の学習”を中心に！

体験学習がゴールではなく、
探究的な学びのスタートに！

事例① 「毎時の記録シート」について その2

総合的な学習の時間 学習シート 学習の記録

組 番 名前	
全体プロジェクト名 未来の大崎上島を考えよう！伝	
授業の記録	
月 日 ()	時間目 内容:
プロジェクト全体の	時間目 全体活動・班活動 (どちらかに○)
学んだこと・決まったこと・話し合ったこと・メモ	
活動の記録やメモ	

探究的な学びだからこそ、各生徒の学習の記録を残すことを大切にする。
→簡略化、統一様式

「資質・能力」から設定した「評価項目」について自己評価をする。



ルーズリックも作成

自己評価【自己評価 S:120% A:100% B:80% C:80%未満】	
①探究すること	問題を発見し、それを解決するためにどうすればよいかを考える。
自己評価:	
②他と関わること	仲間と協力して学んだり、社会と関わったりする。
自己評価:	自己評価
③自ら行動すること	失敗を恐れず、いろんなアイ
自己評価:	

課題の設定 (企画・立案)

情報の収集

整理・分析

まとめ・創造・表現



その他の工夫

- ・プロジェクトチームを結成する際には事前アンケートから、各自の興味や疑問を抱いていることを調査し、その関心が同じ、もしくは似ている生徒たちを1つのチームとした。
- ・探究テーマを「福祉」や「少子高齢化」などと限定せず、島で進む少子高齢化の視点を踏まえていけばよいこととし、各チームのアイディアで自由なテーマで探究できることにした。
- ・一人に一台配付されたタブレットを活用した。

取組事例の紹介

① 「大崎上島中学校」
自作の「探究学習シート」の活用

② 「東野小学校」
K授業（3校交流授業）の取組

事例②：小学校3校交流授業 K授業

「K授業」

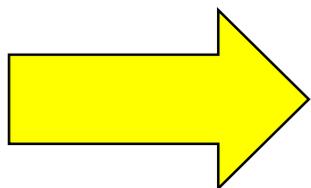
総合的な学習の時間の取組
を各学校で交流する場

東野小学校
木江小学校
大崎小学校

各校で「大崎上島学」として共通テーマを設定
(例：小1 あそび 小4 海 小5 産業 など)

各校での調査活動等（施設訪問 インタビュー）

各校で探究してきた成果を持ちより交流
→お世話になった地域の方もゲストで招待



各学年でK授業を実施！
大崎上島についての学習を深めながら
1年毎にレベルUP！

事例②：小学校5年生での取組

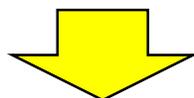
「小5 私たちの町の産業」

目標：大崎上島の産業の現状について知る。また、自分たちの生活と重ね合わせ、今自分ができていることを考えて行動したい、将来何が必要かを考えて提案したいすることができる。

それぞれのテーマを設定

東野小：水産業
木江小：観光業
大崎小：農業

- ・ 地域のお店や施設を実際に訪問
- ・ 各業種の展望について調べたり、考えたりする
- ・ 劇にして発表したり、動画を作成したりする

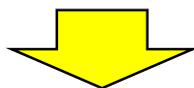


他校の同学年に対しての相手意識の芽生え
大崎上島の未来を担う子供としての成長

事例②：東野小 K授業後の取組

K授業後の「課題の再設定」

“島内”の方から，“Iターン”の方に視点を変え、島の魅力について再確認を行う。



- ・これまでの学習の中で，Iターンをされ，産業を営んでいる方々に興味を持つ児童がいたことから課題を再設定。
- ・島外の方が感じている大崎上島の魅力と自分たちが感じている魅力について比較することで新たな発見を期待。



**課題の設定
(企画・立案)**

情報の収集

整理・分析

まとめ・創造・表現

工夫した点

- ・ターンされた方へのインタビューのアポイントも児童が主体となって行った。
- ・教室掲示を工夫し、学びを継続していった。
- ・インタビューを動画に撮っておき、そこから情報の整理分析を行った。
- ・成果はパンフレットにまとめ、4年生に紹介することをゴールとした。

研究の成果①

中学生への資質・能力への意識調査

項目	肯定的評価の比較
思考力・判断力	+ 3%
表現力	+ 10%
主体性・積極性	+ 7%
自己理解・自らへの自信	+ 12%

すべての項目で肯定的評価の割合がUP！

研究の成果②

中学1年生の事後評価シートの記述より

あなたのプロジェクトチームは「プロジェクトの達成目標」を達成することができましたか？自己評価を書いてください。また、なぜそう思ったのかを書いてください。

S:120% A:100% B:80% C:80%未満

自己評価: A

100%は達成できた。しかし、これは、自分たちの島を見るだけで、島はなにも変わらなかった。これを100%に達成するために、この島を変えて、今よりもよくなるようにするのは、いつまでたっても⑤はつけられないと思う。

取組の成果について
自己評価

あなたのプロジェクトチームは「プロジェクトの達成目標」を達成することができましたか？自己評価を書いてください。また、なぜそう思ったのかを書いてください。

S:120% A:100% B:80% C:80%未満

自己評価: C

農業の問題の答えは分からなかった。だけど、どんな問題があるかやそれを解決するための方法など考えることができた。

チームの取組について
冷静な分析

「プロジェクトにおける評価項目」の中で、自分が特にがんばった項目はどれですか？
また、その理由を書いてください。

項目：②他と関わること・③自ら行動すること

② リーダーなのでみんなの意見を聞いたリ意見を大切にした。

③ 調べる・かく・指示するが積極的に行きました

自分から行動し 他と関わることし

資質・能力の変容 についての自己評価

それぞれの
立場や取組の中で
成長を感じている

「プロジェクトにおける評価項目」の中で、自分が特にがんばった項目はどれですか？
また、その理由を書いてください。

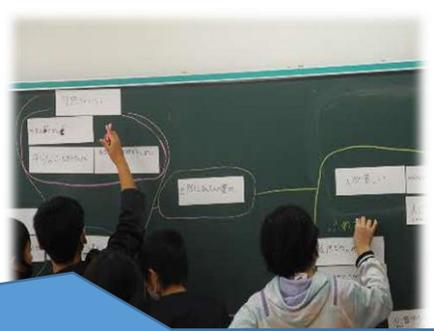
項目：① 探究すること

権伝馬のかかえている問題を見つけたリ、
その問題を解決するためどうしたら良いのかを
考えることかできたから。

プロジェクトを通して、
資質・能力の変容

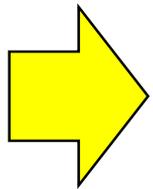
研究の成果③

東野小学校5年生の振り返りから



- 「大崎上島について新しい事を知れることが楽しい。」
- 「インタビューを通して、自分たちの考えと違う考えを知ることができる。」
- 「インタビューを通して大崎上島の人と触れ合うことができることが楽しい。」

学級での話し合いが増え、自分の主張を述べる児童が増えた。1ターンの人へ見学依頼するための話型を自分たちで作ったり、インタビューを行う際の質問内容を吟味しタフレットを使い整理する姿があった。



プロジェクトを通して、
資質・能力の変容

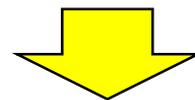
残された課題①

R3 5月

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」

(中学生へのアンケート)

20%が否定的



R4 2月

25%が否定的

探究的な学習過程を踏むことを意図して教師は指導しているが、それを生徒が意識化できていないことが要因として考えられる。

探究過程を振り返り、意識化させる必要性

残された課題②

実践事例から明らかになった課題

・ 探究的な学習において、教師も児童・生徒も同じゴールイメージを持つことの必要性

・ 児童生徒のこれまでの知識や経験の有無が探究の深さに大きく影響すること

「大崎上島学」の単元構成をこれらの視点から見直していくことが必要